

令和6年度 病害虫防除情報

令和6年8月28日
発表：福島県病害虫防除所

トマト黄化葉巻病の発生が増えています。
タバココナジラミを防除するとともに、次作への対策を徹底しましょう。

- 1 対象作物：トマト、ミニトマト
- 2 病害虫：トマト黄化葉巻病（病原：Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV))
- 3 対象地域：全域
- 4 発生量：多い

【発生状況等】

8月の定期巡回調査において、トマト黄化葉巻病及びタバココナジラミの発生が、複数地域で確認されている（図1）。

【発生生態等】

- (1) 本病は、ウイルスを保毒したタバココナジラミがトマトを吸汁することにより媒介される。タバココナジラミはウイルスが感染したトマト等を吸汁することで保毒し、他の健全な株へウイルスを伝搬する。保毒したタバココナジラミのウイルスは経卵伝染しないとされ、汁液伝染、種子伝染、土壌伝染もしない。
- (2) 発病初期は上位葉が葉縁部から黄化して葉巻症状を示し（写真1）、その後葉脈間が黄化して縮葉となる（写真4）。症状が進行すると、株全体が萎縮する。発病前に着果した果実は正常に発育するが、発病後は蕾のまま落下したり、開花しても結実しないことが多い。育苗期から生育初期に感染すると被害が大きくなる。
- (3) タバココナジラミの成虫の体長は 0.8mm 程度、体色は淡黄色で白色の羽をもつ。オンシツコナジラミと比較するとやや小型で体色がやや濃い（写真2）。幼虫は長さ 0.8mm ~1.0mm で全体が淡黄色、楕円形で背面がやや隆起する（写真3）。成虫及び幼虫の排泄物によるすす病が発生するほか、オンシツコナジラミとは異なり、多発するとトマト果実の着色異常をひきおこす（写真5）。

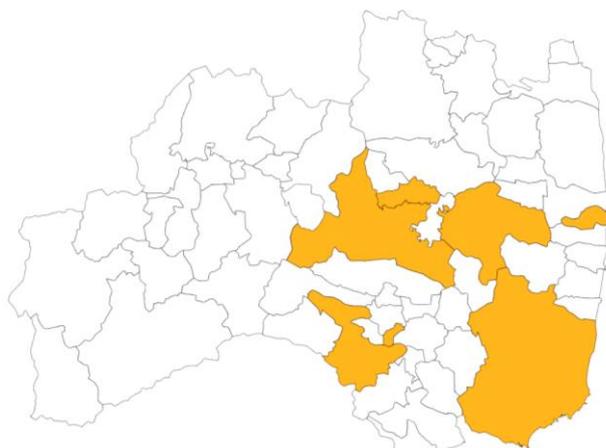


図1 今年度トマト黄化葉巻病の発生を確認している地域（農林事務所からの報告を含む）



写真1 ほ場における罹病株（初期病徴）



写真2 タバココナジラミ成虫 (約0.8mm)



写真3 タバココナジラミ幼虫 (約0.8mm~1.0mm)



写真4 生長点における病徴



写真5 トマトの着色異常果

【防除対策】

- (1) タバココナジラミの侵入を防止するため、ハウスの開口部に防虫ネット (0.4mm目合い) を設置する。
- (2) 薬剤によるコナジラミ類の防除を徹底する。
- (3) コナジラミ類がほ場外に出ないように、栽培終了時に蒸し込み処理を確実にを行い、死滅させる。
- (4) 発病したトマトの株や野良生えのトマトは伝染源となるため、速やかに処分する。
- (5) ほ場周辺の雑草を除去する。
- (6) 次作へ向けて耐病性品種の導入を検討する (表1参考)。

表1 トマト黄化葉巻病耐病性品種

	品種	種苗会社
大玉	桃太郎ピース	タキイ種苗
大玉	かれん	サカタのタネ
大玉	有彩014	武蔵野種苗園
ミニ	TSX-827	トキタ種苗
ミニ	TY千果	タキイ種苗
ミニ	アルル	武蔵野種苗園

※各種苗会社HPより掲載

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課 (病虫害防除所) まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727